

沿 革

平成26年9月	玉湯まがたま学園建設委員会設立
平成29年	学園グラウンド造成工事開始
平成31年	学園グラウンド竣工
令和元年	学園校舎、玉湯幼稚園、玉湯児童クラブ建設工事着工
令和2年	学園屋内運動場着工
令和3年3月20日	学園校舎・屋内運動場、玉湯幼稚園、玉湯児童クラブ建設工事竣工式 (令和3年3月 玉湯中学校・玉湯小学校・大谷小学校閉校)
令和3年4月8日	学園開校式
令和6年3月	第2校舎エアコン工事完了

校 区 の 概 要

本校がある玉湯町は、松江市の南西に位置し、西は宍道町、南は雲南市大東町に連なり、北方一帯は宍道湖に面しほぼ三角形の町である。

宍道湖に沿って東西に JR 山陰本線、並びに国道9号線が走り、玉湯川と並行して、県道大東湯町線が南にのび、交通の便は極めて良好である。

また、町のほぼ中央を流れる玉湯川は、源を城床山に発し、多くの細流を集め宍道湖に注いでいるが、その中ほどに玉造温泉があり、四季を通じて観光客の絶え間がない。また、布志名、湯町の窯業、玉造のめう細工等の伝統工芸も広く知られている。

人口は、7,068人（令和3年2月末：松江市調べ）であり、大正9年当時(3,657人)の約2倍近くに増加している。近年、住宅地の開発が進み、世帯数、人口ともに増加傾向にある。今後は、宍道湖沿岸部の宅地造成、住宅建設等による急激な人口増加が見込まれている。

令和3年、玉湯中学校、玉湯小学校、大谷小学校が統合し、新設「義務教育学校玉湯学園」が開校した。同一敷地内にたまゆ幼稚園、玉湯児童クラブを同時に移設した。

